

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

【為替】

昨日10日未明に貧困層に対する緊急支援策再開に向け財政調整策を織り込んだ憲法改正案の下院投票(第1回)が承認されたことを好感し、取引開始よりレアル高が進行。また、3月IGP-Mインフレ率(第1回10日目プレビュー)が市場予想比上振れしたことを受け、継続的な物価上昇が確認されると、来週のCOPOM(3月16日・17日)での利上げ観測が拡大したことや、ブラジル中銀のFXスワップオークション発表を受け、レアル高に拍車。一方、下院で議論されている憲法改正案は、支出が収入の95%に達した場合、公務員と軍人に対する給与引き上げの禁止条項が反対多数となると、一時レアル安に切り返す場面もあったが、午前中からのレアル高の勢い止まらず、5.67レアル台にて取引を終えた。

【株式】

新型コロナウイルス感染拡大に伴う死亡者が過去最大(9日:1,972人)となり景気の先行き懸念が高まる中、ルーラ前大統領が記者会見でボルソナロ大統領の政権を批判したことで、ボベスパ指数は一時109,000ポイント台まで下落。しかし、サンパウロ政府が新型コロナウイルスワクチンCoronovacの120万人分を購入を発表したことや、ブタンタン研究所により前述のCoronovacが突然変異種に対しても有効であると発表されたことを好感して上昇に転じ、112,000ポイント台後半にて取引を終えた。

【その他】

- ・ブラジル3月IGP-Mインフレ率(第1回プレビュー):1.95%(市場予想:1.83%、前月:1.92%)
- ・米国2月CPI(前月比):0.4%(市場予想:0.4%、前月:0.3%)

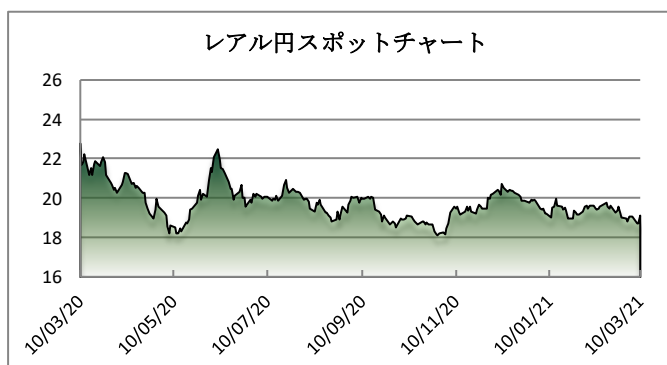
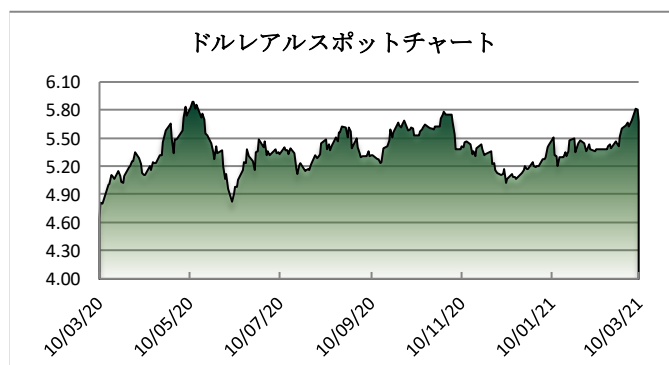
【COVID-19 感染者総数(3/10時点)】

ブラジル全体:11,202,305人(前日比+79,876人)、サンパウロ州:2,134,020人(前日比+16,058人)

マーケットデータ

Indicator	Unit	3月9日	3月10日	3月10日		(年初来) 高値	(年初来) 安値	
				前日比	1ヶ月前比			
レアル	対ドル	BRL	5.8066	5.6725	2.31%	-5.39%	5.1210	5.8743
	対円	JPY	18.70	19.11	-2.20%	1.70%	20.09	18.48
	対ユーロ	BRL	6.9100	6.7667	2.07%	-3.76%	6.2961	6.9845
円	対ドル	JPY	108.48	108.38	0.09%	-3.62%	102.59	109.23
	対ユーロ	JPY	129.10	129.29	-0.15%	-2.00%	125.09	129.98
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	111,331	112,777	1.30%	-5.60%	125,324	107,319	
CDS Brazil 5yrs	bps	214.33	209.68	2.17%	-34.78%	220.26	141.37	
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	8.60	8.61	0.08%	10.81%	8.73	6.87	
DI Future Jan22 (金利先物)	%	4.010	4.035	0.62%	18.50%	4.11	2.82	
3 Months US Dollar Libor	%	0.17725	0.18413	3.88%	-9.07%	0.2413	0.1753	
CRB Index (国際商品指数)	Index	191.34	191.76	0.22%	4.09%	196.15	166.34	

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

【為替】

昨日10日未明に貧困層に対する緊急支援策再開に向け財政調整策を織り込んだ憲法改正案の下院投票(第1回)が承認されたことを好感し、取引開始よりレアル高が進行。また、3月IGP-Mインフレ率(第1回10日目プレビュー)が市場予想比上振れしたことを受け、継続的な物価上昇が確認されると、来週のCOPOM(3月16日・17日)での利上げ観測が拡大したことや、ブラジル中銀のFXスワップオークション発表を受け、レアル高に拍車。一方、下院で議論されている憲法改正案は、支出が収入の95%に達した場合、公務員と軍人に対する給与引き上げの禁止条項が反対多数となると、一時レアル安に切り返す場面もあったが、午前中からのレアル高の勢い止まらず、5.67レアル台にて取引を終えた。

【株式】

新型コロナウイルス感染拡大に伴う死亡者が過去最大(9日:1,972人)となり景気の先行き懸念が高まる中、ルーラ前大統領が記者会見でボルソナロ大統領の政権を批判したことで、ボベスパ指数は一時109,000ポイント台まで下落。しかし、サンパウロ政府が新型コロナウイルスワクチンCoronovacの120万人分を購入を発表したことや、フタタン研究所により前述のCoronovacが突然変異種に対しても有効であると発表されたことを好感して上昇に転じ、112,000ポイント台後半にて取引を終えた。

【その他】

- ・ブラジル3月IGP-Mインフレ率(第1回プレビュー):1.95%(市場予想:1.83%、前月:1.92%)
- ・米国2月CPI(前月比):0.4%(市場予想:0.4%、前月:0.3%)

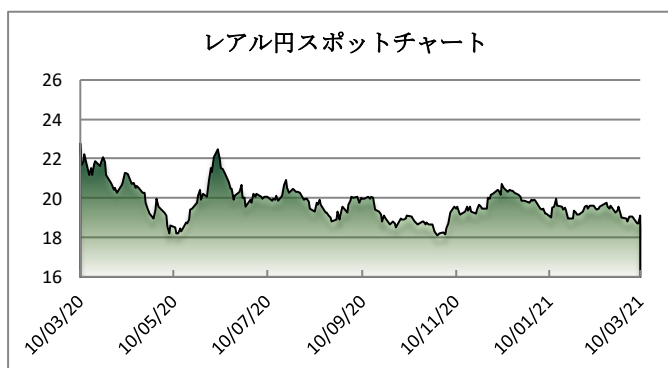
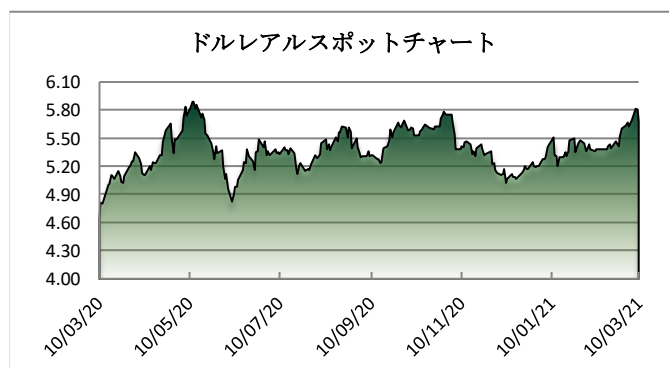
【COVID-19感染者総数(3/10時点)】

ブラジル全体:11,202,305人(前日比+79,876人)、サンパウロ州:2,134,020人(前日比+16,058人)

マーケットデータ

Indicator	Unit	3月9日	3月10日	3月10日		(年初来) 高値	(年初来) 安値	
				前日比	1ヶ月前比			
レアル	対ドル	BRL	5.8066	5.6725	2.31%	-5.39%	5.1210	5.8743
	対円	JPY	18.70	19.11	-2.20%	1.70%	20.09	18.48
	対ユーロ	BRL	6.9100	6.7667	2.07%	-3.76%	6.2961	6.9845
円	対ドル	JPY	108.48	108.38	0.09%	-3.62%	102.59	109.23
	対ユーロ	JPY	129.10	129.29	-0.15%	-2.00%	125.09	129.98
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	111,331	112,777	1.30%	-5.60%	125,324	107,319	
CDS Brazil 5yrs	bps	214.33	209.68	2.17%	-34.78%	220.26	141.37	
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	8.60	8.61	0.08%	10.81%	8.73	6.87	
DI Future Jan22 (金利先物)	%	4.010	4.035	0.62%	18.50%	4.11	2.82	
3 Months US Dollar Libor	%	0.17725	0.18413	3.88%	-9.07%	0.2413	0.1753	
CRB Index (国際商品指数)	Index	191.34	191.76	0.22%	4.09%	196.15	166.34	

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



〈オンブスマン連絡先: 0800 722 2762〉

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。